

東鍼同窓会だより 第4号

本会は会員相互の親睦を深め、母校創立者・故柳谷素霊先生の遺志である東洋医道の研鑽及び海外諸医学との交流、母校の発展に努力することを以て目的とする（会則より）

2010年11月発行

東洋鍼灸専門学校同窓会〒169-0073東京都新宿区百人町1-4-4 学校法人素霊学園東洋鍼灸専門学校内

TEL : 03-3209-5436 FAX : 03-3209-5569 EMAIL : doso@toyoshinkyu.ac.jp

同窓会からのご報告とお願い

秋冷の候、同窓会の先生方におかれましては、益々ご清栄のことと存じ上げます。

治療家にとって一番大事な事は、病む人に共感できる心と、日々治療法の勉強だと思えます。最初のご報告は、同窓会として、勉強が出来る機会をつくろうと同窓生が中心になって活躍してる研究会（現在、13の研究会）を届けて頂きました。当初は、同窓会として学校をお借りして、順番に1～2の研究会を開催して頂き、そこに同窓生や在校生も参加してもらおうと計画していたのですが、諸般の事情で、今のところ実現できませんでした。

しかし会員からのそれらの研究会へ参加してみたいと云う希望を、お聞きしていただきましたので、研究会の方にお問い合わせしたところ、快く、一日（一回）研究会に参加してくださいとのご返事を頂きました。同窓生の皆様（在校生の皆様も）このチャンスに出席して勉強して下さい。研究会の名称と日時は後述してありますのでお読みになってご参加ください。

【お願い】

1、鍼灸科学生募集のお願い

鍼灸科は他校もそうですが、入学希望者が少なくなり、東鍼校も苦戦しております。しかし、東鍼校の鍼灸科の講師陣は、他校と違い、鍼灸あん摩科の生徒も羨むほど充実した、実践に富んだ先生方です。（鍼灸あん摩科に比べ鍼灸科は鍼灸実技が格段に充実しています）

鍼灸師として治療に従事したい、独立開業したいと云う希望をお持ちのお知り合いの方や先生のご子弟、また、御縁者で、鍼灸に興味のある方を、ぜひ、優秀な鍼灸師を育てる、東鍼校の鍼灸科を受験するようにご紹介して下さい。学校の方へご連絡いただければ幸いに思います。宜しくお願い致します。

2、治療院見学

治療院見学を在校生が望んでおります、見学に来て良いよと云う治療院の先生、お手数でしようが、可愛い後輩のため、見学OKと、同窓会までお知らせください。見学方法を後日ご相談させていただきます。

3、就職のお願い

就職のお願いです。学校の方でも就職のお世話をしておりますが、治療院で就職受け入れして頂ける先生は、同窓会事務局までおハガキで、就職受け入れOKと、お知らせ下されば必要用紙をすぐお送りいたします。卒業生にとって就職が一番大事です、なにとぞご協力をお願い致します。

4、東鍼祭のお知らせ（別紙パンフ参照）

別紙でご紹介のように、11月20日(土)、21日(日)に、東鍼祭がございます。

可愛い後輩の学生の皆さんが頑張って運営しております。村田溪子先生・首藤傳明先生の講演も有ります。参加して、後輩にお声をかけてあげて下さい。喜ばれると思います。宜しくお願いいたします。



平成22年10月17日(日) 伊藤瑞鳳先生講演会

同窓生の活動報告

昭和29年より続く、東洋鍼灸専門学校同窓会。すでに、全国に広がる多くの同窓生を排出、その数は5590人。研究会におじゃまして見学してきました！！

伊藤瑞鳳先生講演会

平成22年10月17日(日) 開催

東京都新宿にて行われた講演会は、今年で6回目。伊藤先生は、今年80歳になられ、治療院開業55周年を記念する講演会となりました。

今年の演題は、「続・九變、十二經に應ずる刺法の臨床応用」。冒頭伊藤先生からは、みなさんにお配りになったパンフより抜粋した激励の言葉を頂戴しました。「現代の医療の編み目から漏れた病人が『溺れる者は藁をも掴むの思いで鍼灸治療に望みを託してみた。だが期待通りにはならなかった』と嘆くのを聞いたのです。これは耳の痛い話でした。この声は受療者すべての意見ではないにしても、私ども鍼灸工の力量不足、プロ意識の希薄さを指摘しているのです。この点を自省し、もっと積極的に臨床を研鑽しなければ、いま言ったような病人の期待に応えられません。

かくなる反省のもとに「鍼灸医療」だと言うからには、悠遠の古代鍼法に学び、具体的な臨床経験を、目で見、耳で聞いて知ることだと思ふのです。」

いまだ勉強を続けられ、進化続ける伊藤先生にお会いして、とても感動しました。私たちも一層頑張らなければならないと参加して思いました。

伊藤先生退官後の卒業生からは(H22卒・男性)『「学」「術」一致の先生の姿勢にとっても深い感銘をうけました』と感想をもらいました。

青鳳会

9月26日、新しく建設された東鍼校実技棟1Fにて、青鳳会の講義が行われた。参加者は30名を越え、皆熱心に講義に耳を傾けていた。

古典を引用しながらの講義の後、齋藤会長による打診の講義となった。素霊先生の実技の教科書よりの引用の座学から、後半実技の時間もあり、実際の治療をベットを囲んで学び、各自ペアを組んで実際の打診を用いながらの実習を行った。実際の打診を用いた治療を試みることができ、とても勉強になりました。



漢方いろは塾

9月19日、水道橋にて漢方いろは塾の講義が行われた。

伊藤瑞鳳先生の白鳳会での講義をテープ起こしした講義には、先生の古典を治療に生かすその綿密な考察と、実際の治療の経験が詰まっております、とても勉強になりました。

後半の実技では、それぞれの臨床家の先輩方が、実際の治療を行っていくのを間近で質問しながら見ることが出来ました。この会は、女性の臨床家が多く在籍している点が、他と異なる印象を与える。



ネパール無料巡回治療

平成17年卒 熊木亜夫

開業して早や6年目を迎え、地域の高齢者を中心に治療を続けています。ネパールに長年在住している本校卒業の畑先生の主宰するNGOよもぎの会に賛同し、在校当時から2度のヘルスキャンプに参加した。政変により一時中断していたが、去年はポカラ、今年8月に4度目となるビルガンジに参加した。入浴の習慣が無く、裸足で過ごす患者達の根底に冷えがあり腰痛、膝痛、肩こりが多い。またポリオ、パーキンソン、リウマチなど慢性的な疾患も多く、短期間ではあるが、少しでも楽にと治療を続ける。日増しに患者数も増え1週間で延べ3千人にもものぼる。朝6時半からの治療で、さながら野戦病院の様相で、暑さも加わり、さすがに疲労困憊の日が続いた。しかし患者のナマステと言う笑顔と信頼関係により、来年もという気になり、いつもながら物質面の豊かさよりこころの豊かさを教えられ帰国する。



同窓生が中心となっていて行われている研究会

昨年の事業目的として、同窓生が行っている研究会の調査及び紹介を、前号の医黄集門に掲載。今回は、引き続き新たに報告があった研究会の掲載及びすでに紹介している会で同窓生の見学受け入れいただける研究会のリストを掲載。新しい同窓生へ向けてのアピールとして、伝統ある同窓会の一端を紹介できればと思っています。

同窓生の見学を受け入れします！！

今回すでにご紹介した研究会の中で、新たな企画を提案させて頂き、了承を得た研究会を紹介致します。

☆漢方いろは塾 竹村ちひろ

TEL：03-3379-4622

受入時期：事前に連絡必要。聴講扱い。

一回3000円

☆SS研究会 坂田潔治

TEL：090-7436-8996

受入時期：

毎月第3日曜日18:00~20:00 1000円程度
〒515-0313三重県多気郡明和町明星1936-1

☆元掌塾 戸田賢

TEL：048-464-4689

受入時期：11月7日、12月12日、平成23年1月9日、2月6日&3月6日 2000円

☆東京九鍼研究会 中倉健

TEL：03-3483-8067

受入時期：平成23年4月度の研究会（日程未定）

一回のみ2000円。継続される場合は研究会参加の料金にて

☆鹿児島武術・医療気功研究会 村松輝久

TEL：099-269-7498

受入時期：体験入会希望、見学のみはお断り

基本的に毎月第二土曜日19時~21時 事前にTELで確認

☆心身一体療法研究所 本宮輝薫

TEL：03-2465-7833

受入時期：適宜 2000円

☆太陽創建法（整体）ゼミナール 池田研二

TEL：03-3380-2201

受入時期：いつでもOKです。TELにて問合せ一回3000円

☆陰陽塾 代表：本田維宏

TEL：045-864-8666 FAX：045-342-8977

受入時期：毎月原則として第1日曜13時~17時

11月は7日 1000円（資料代別途）

☆NPO法人ジン・アルコ 實村興治

TEL：082-818-3910

受入時期：不定期の爲、日程は後日。来年は3月を予定

掲載内容

- 1：研究会名称
- 2：代表者（卒業学科・卒業年度）
- 3：事務局（卒業学科・卒業年度）
- 4：連絡先
- 5：目的
- 6：活動内容
- 7：会費
- 8：会場

☆日本内経医学会

- 1：日本内経医学会
- 2：代表：宮川浩也（本科・昭和58年卒）
- 3：事務局：同上
- 4：連絡先 〒333-0802 川口市戸塚東1-1-32
- 5：目的 古典（とくに『素問』『靈枢』）の研究、教育のため。
- 6：活動内容

- 第2日曜日、医古文講義・漢文講義・素問講義・靈枢講義
- 7：会費 年会費11000円 受講費10000円
- 8：会場 東洋鍼灸専門学校

☆「脳卒中・認知症予防」 鍼灸手技ネットワーク

- 1：「脳卒中・認知症予防」鍼灸手技ネットワーク
- 2：代表：天野寛敏（本科・昭和52年卒）
- 3：事務局：同上
- 4：連絡先：03-3881-8251
- 5：目的 鍼灸按摩マッサージ師が脳卒中認知症予防に貢献する取り組みと社会アピール
- 6：隔月の研究会開催、隔月の役員会、運営委員会など

- 7：5000円
 - 8：日本鍼灸会館を予定
- #### ☆しんじん医の会
- 1：しんじん医の会
 - 2：会長：国府田広志（本科・昭和54年卒）
 - 3：事務局：同上
 - 4：連絡先 〒336-0931 さいたま市緑区原山4-3-13 048-883-5072
 - 5：目的 本会は東洋医学の発展と、治療技術の研究及び後進の育成に役立ち東西医学の交流による新しい医療の確立を目的とする
 - 6：第2日曜日 AM10:00~12:00 互換 PM1:00~ 勉強会、慢性腎炎治療その他
 - 7：会費 月額4000円 受講費10000円
 - 8：会場 東洋鍼灸専門学校



本館5階学生ホールが10月4日にオープン

総会報告

平成22年4月29日、東洋鍼灸専門学校同窓会の定期総会が東洋鍼灸専門学校を会場として開かれた。

会頭に、1月10日にご逝去された、第8代同窓会会長 成川洋寿先生（昭和46年卒）への黙祷が行われた。

成川先生は、東京都鍼灸師会などでご活躍され、前年の同窓会総会でも議長をつとめられました。

司会の松田博公先生により議事進行が行われ、新会長の竹内会長より事業報告、決算報告および予算についての議案が提出された。

出席者からは、会費をいただいていない会員についての対応などの、活発な意見をいただき、とてもよい提案をいただくことが出来ました。また、会費についての質疑が行われて、大変意義のある総会となった。議決された内容は後記参照。

竹内会長のコメント「参加者が少なかったという印象を受けています。来年の総会には、会員の一層の参加をよびかけたい。また、皆様の会費によって運営されています。会員の皆さまの更なるご協力をお願い申し上げます。研究会を通して同窓生のつながりを強めていきたいと思っています。」

【平成22年度 事業計画】

会務運営方針

- 1, 同窓会会員数を増やす
- 2, 同窓生の運営している研究会動向調査、相互交流、特別号での発表

事業報告

- 1, 次回会員名簿発行の下調べを兼ねた調査
 - 2, 平成22年4月29日定期総会を開催。講演会及び懇親会を開催する
 - 3, 平成22年11月20日（土）予定 講演会を東鍼祭に於いて開催
 - 4, 平成23年2月20日（日）素霊先生墓前祭に参加
 - 5, 医黄集門及び医黄集門特別号の発行
 - 6, 平成23年3月21日（月）卒業式に参加。同窓会長賞を授与する
 - 7, 有）そーほっとに名簿管理・会費納入・明細作成などの会務及び「医黄集門」などの発送業務を委託
 - 8, 会員に対する求人・求職活動の強化
- 上記事業達成のため役員会及び理事会ならび各部会を開催
- 9, その他

【会費納入のお願い】

同窓会は、皆さまの会費で運営しております。

同窓会では、「東洋鍼灸専門学校同窓会だより」を会費未納の人に、会費振込用紙を同封いたしました。同窓会費は年間3000円です。

同窓生や学校の近況等の情報を通し、同窓生皆様方と母校をつなぐ架け橋になればと考えております。

【役員会報告】

平成22年9月21日に、東洋鍼灸専門学校素霊記念館にて、本年度の役員会が行われました。

総会の総括、H22年事業中間報告、今後の事業予定の確認を行いました。同窓会だよりの検討、次号医黄集門企画内容について検討いたしました。

【訃報】

成川洋寿先生（第8代会長）

H22年1月10日（67歳）

山下詢先生（初代会長）H22年6月7日（81歳）

【寄付のお礼】

総会時、塚本此清先生より同窓会へご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。

【編集部よりお願い】

クラス会開催は写真と共にご一報下さい

卒業生による研究会調査は引き続き情報提供をお願いいたします。併せまして、在校生を受入可能な研究会、見学可能な治療院も募集しております。

卒業生の地方での活動も、是非投稿下さい

東洋鍼灸専門学校同窓会だより 第4号

発行日：平成22年11月1日

発行：東洋鍼灸専門学校同窓会

発行者：同窓会会長 竹内 廣尚

編集：「同窓会だより」編集委員会

事務局：東洋鍼灸専門学校内

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-4-4

TEL：03-3209-5436

FAX：03-3209-5569

Email: doso@toyoshinkyu.ac.jp